

屋久島世界自然遺産地域管理計画(案)の構成 及びその他の計画等との位置づけ

計画の目的

遺産地域の概要

・位置等、総説、自然環境、社会環境、遺産地域の保護制度等

管理の基本方針

1. 管理の目標

クライテリアvii(自然景観)

クライテリアix(生態系)



将来にわたって維持

2. 管理の現状

3. 管理にあたって必要な視点

(1)生態系等の統合的・順応的な管理

(2)広域的、長期的な管理

(3)自然環境や景観の保全を前提とした持続的な利用

(4)地域との連携・協働

管理の方策

1. 生態系と自然景観の保全

(詳細は次ページ参照)

2. 自然の適正な利用

(詳細は次ページ参照)

3. 関係行政機関等の体制

4. 調査研究・モニタリング及び巡視活動



**屋久島世界遺産地域
モニタリング計画**

5. 地域との連携・協働

6. 環境教育、情報の発信と普及啓発

遺産地域における今後10年間のモニタリング項目について、具体的に記載

1. 生態系と自然景観の保全

(1) 基本的な考え方

(2) 生態系の保全

<植物>

植生の垂直分布

常緑広葉樹林

天然スギ林

登山道等の植生

固有種・希少種(ヤクタネゴヨウ・ヤクシマリンドウ等)

<動物>

- ・生態系本来の構造と機能を維持・保全することを基本に科学的知見を基に管理
- ・野生動物の生息地全域を視野に入れた保護管理
- ・人と野生動物との共存

ヤクシカ

- ・各地域の実態を踏まえた管理
- ・モニタリングに基づく客観的評価
- ・関係機関の連携
- ・ヤクシカWGの助言等の科学的知見に基づく順応的管理

ヤクシカ保護管理計画

遺産地域を含む屋久島全域におけるヤクシカの管理目標等について記載(予定)

(3) 自然景観の保全

高層湿原

屋久杉の巨樹・巨木

(4) 外来種や病害虫等への対応

- ・タヌキ、ノネコ、モクマオウ、アブラギリ、カシノナガキクイムシ、マツノザイセンチュウ等

2. 自然の適正な利用

(1) 基本的な考え方

(2) 利用の適正化

- ・生態系と自然景観に支障を及ぼさない利用
- ・遺産地域外への利用の分散



(5) エコツーリズムの推進

- ・登山道や地域毎の利用ルール構築
- ・屋久島ガイド登録制度等の充実

遺産地域を含む屋久島町全域におけるエコツーリズム推進に係る全体構想について記載

屋久島町エコツーリズム推進全体構想

(3) 主要登山道や地域ごとの利用方針

荒川登山道

宮之浦岳登山道

宮之浦岳-縄文杉縦走路

太忠岳

西部地域

(4) 生態系と自然景観の保全に配慮した施設整備・管理

遺産地域を含む国立公園全域の登山道及び施設の整備方針、整備の優先度並びに整備・管理方法について記載

霧島屋久国立公園 屋久島地域整備計画

- ・整備の技術指針
- ・管理の技術指針